

中核市災害相互応援協定 第3応援チーム

連携強化に関する合意書

近年、大型台風や集中豪雨とこれに伴う土砂災害が多発し、南海トラフ地震や首都直下地震の発生が危惧されるなど、我が国は大規模自然災害の危機にさらされている。

中核市市長会では、激甚な災害が発生した場合に、友愛的精神に基づき相互に応援協力をする事とした「中核市災害相互応援協定」を平成8年10月に締結した。この実効性を高めるべきとの共通認識を持つ青森市、越谷市、横須賀市、岐阜市、豊橋市、尼崎市、倉敷市、那覇市の8都市は第3応援チームの構成員として、来るべき大規模災害に備えて平時から顔の見える関係を築くとともに、情報共有を図っていくことを確認した。

我々8都市は、大規模災害時に支援・受援を円滑に行うための訓練を継続的に実施することで「中核市災害相互応援協定」の実践的な運用を目指し、第3応援チームの連携強化を推進していくことを、8都市の総意により、ここに定めるものとする。

平成27年5月25日



青森市長

鹿内博

越谷市長

高橋努

横須賀市長

吉田 輝人

岐阜市長

細江 茂光

豊橋市長

佐原 光一

尼崎市長

稲村 和美

倉敷市長

伊東香織

那覇市長

城間 幹子